


梅田中 学校だより7

平成30年9月11日

校長 袴田 雅代

梅の香り

全国学力・学習状況調査結果の分析概要



平成30年4月17日（火）、3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が届きましたので概要を報告します。なお、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことから、本校の教育や生徒の状況すべてを映し出すものではありません。しかし、本調査結果を（質問紙調査結果を含め）全職員で分析・検証し、今後の授業改善や学級指導・生徒支援のための貴重な基礎資料として活用していくことは極めて重要なことだと認識しています。

これからも、全職員一丸となって梅中生一人ひとりの「生きる力」の育成に努めて参りますので、御一読いただき保護者・地域の皆様方の温かな御支援をお願いします。

1 学力調査より

*傾向として取り上げられる特徴等



- 本校は、国・県と比較し、国語B（主として活用）について、全体の平均正答率がおおむね同等であった。これを除いた国語A（主として知識）、数学A・数学B、今回実施した「理科」において、全体の平均正答率が、すべて上回っている。
- 国語Aは、基本的な漢字の読み、表現力、長・短文の読解等において、国・県の平均正答率を上回っている。基本的な漢字の書き等についてやや課題が見られる。
- 国語Bは、「内容を整理して書く」「相手に伝わるように書く」に課題はあるものの、話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問するなど、「話すこと・聞くこと」の領域において、国・県の正答率を上回っている。
- 数学Aは、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全ての領域において、国・県より高い正答率となっている。数学的な表現、処理などについて知識・理解など、基礎的基本的な知識等は身につけていると考えられる。
- 数学Bは、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」とともに、国・県の平均正答率を上回っている。特に、「構想を立てて説明する」問題の平均正答率は、国・県を大きく上回った。
- 理科は、「生物的」領域にやや課題が見られるものの、他の「物理的」「化学的」「地学的」の3つの領域において、国・県の平均正答率を上回っている。
- 国語、数学、理科ともに、**無解答率**（答えを書かない）が、総じて国・県より低く、全体として最後まであきらめずに解答しようとする真摯な姿勢がうかがえる。

<考察>

本校生徒は、国語・数学・理科ともに**基礎的・基本的な知識は概ね身につけている**。また、最後まで課題に取り組もうとする意欲も備えており、今後は、「漢字の書き」や「資料の活用」等の課題解決に向けて授業の中で取り組んでいく。

今後も、対話やディスカッション等の交流場面を授業の中で計画的に位置づけ、他者の意見を聞いて自分の考えをまとめ、自分の考えを他者に分かりやすく伝え、「思考を深めさせる」ことで一層の学力向上が期待できると考える。

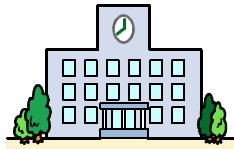
2 質問紙調査より *「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合

<自尊感情・規範意識>

- 「自分には良いところがあると思うか」→75.8% (「全くない」→6.8%)
- 「将来の夢や目標を持っているか」→75.8% (否定→8.3%)
- 「学校の規則を守っているか」→95.4%
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」→93.2%
- 「人の役に立つ人間になりたいと思うか」→96.2%

<生活習慣・学習習慣>

- 「朝食を毎日食べているか」→93.2% (「食べてない」→1.5%)
- 「普段(月～金)の学校以外での学習の時間はどのくらいか(塾・家庭教師等含む)」
 - ・3時間以上→26.5% ・2～3時間 →34.8% ・1～2時間→26.5%
 - ・0.5～1時間→6.8% ・30分未満 →2.3% ・0時間 →3.0%
- 「家で予習・復習をするか」→65.1%
- 「家の人と学校の話をするか」→74.3%



<地域・社会への関心等>

- 「地域・社会での出来事等に関心があるか」→51.5%
- 「地域のことを調べたり、地域の人とかかわる機会があったか」→85.6%
- 「地域のボランティア活動に参加したか」→82.6%
- 「TVのニュース番組やネットニュースを見るか」→87.9%



<学習に対する態度等>

- 「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、取り組んだか」→73.5%
- 「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表したか」→58.4%
- 「話し合いで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか」→78.1%

<考 察>

本校生徒は、規範意識や基本的な生活習慣・学習習慣等については、国・県の平均値を大きく上回っており、安定した生活状況がうかがえる。特に、「学校の規則を守る」「いじめは、いけないこと」「人の役に立つ人になりたい」と、ほとんどの生徒が思っていることに、梅中生の精神「至誠一貫」の継承を感じる。また、「地域活動への参加」等、地域貢献への意識も高い。

一方で、「自分の良さ」や「将来の夢」等を見つけることができていない生徒や、「朝食」を食べていない生徒が少数ながらもいる。